整理番号	年月日	時刻	発生場所	斜面	標高(m)	種類	天気	発生	死亡	遭遇 遭遇・報告者の種類	能細	出典
?-1	?	?	上ホロカメットク山北西壁	北西	1700~1800	表層	雪	誘発	0		4名中2名は途中で止まった	決定版雪崩学
?-2	?	8:20	三段山	南西	1350	表層	快晴	誘発	0			決定版雪崩学
193412??	1934.12.?	10:00	三段山	北	1580?	表層	曇り	誘発	0			決定版雪崩学
19341227	1934/12/27	11:00	富良野岳	北	1850	表層	晴れ	誘発	0	0 登攀系	北大山岳部9名がアイゼン下降	決定版雪崩学
40004007	1000 (10 (07		上ホロカメットク山八つ手岩南	_	4700	۸ د		25. Do		c 24 to T	中に雪崩発生。後日2名の遺体	北大山岳部雪崩研究
19381227	1938/12/27	12:30	方斜面	南	1760	複合	吹雪	誘発	2	5 登攀系	発見 広い斜面中部を下山中、3名が埋	会 テキスト
195512??	1955.12.?		十勝岳	南	1800	表層	みぞれ	誘発	0	3 登攀系	没2時間後に救出される	決定版雪崩学
19551223	1955/12/23	7:00	前十勝岳	北東	1650	表層	吹雪	誘発	0	1 不明	Address to the second s	決定版雪崩学
			上ホロカメットク山安政火口西								斜度50度15mの斜面を登攀中、 強風でクラストした斜面の凹部の	北海道登山者雪崩研
19671121	1967/11/21	10.00	方	?	1350	表層	強風	誘発	0	? 登攀系	吹だまりに踏み込んで雪崩誘発	究会アンケート
197501??	1975.1.? 1976/11/22	10:00	上ホロカメットク山D尾根	北	1400	表層?	吹雪雪	自然誘発	0			決定版雪崩学
19761122	1970/11/22	12.30	上ホロカメットク山D尾根末端 上ホロカメットク山安政火口西	西	1300		=	n75.7%		נפיון		決定版雪崩学
19771120	1977/11/20	10:10		西	1400	表層	曇り	誘発	0	3 登攀系		決定版雪崩学
198?1120	198?.11.20		上ホロカメットク山化物岩上	南	1720	?	?	誘発	0	? 登攀系	雪訓でルンゼに入り10mほど流される	ピオレ山の会
											1名が巻き込まれ自力脱出。3名	
19810416	1981/4/16	12:00	富良野岳~三峰山間	北東	1800	表層	?	誘発	0	4 滑降系	が埋没したが、10-30分後に救出 スキーヤーの遺体が同年4月25	決定版雪崩学
40050000	1005 (0 (00			+	1050					0 12 PM T	日に崖尾根下で発見される。状	上富良野町行政ホー
19850223	1985/2/23	?	三段山 崖尾根下	南西	1350	?	?	?	1	0 滑降系	況から雪崩遭難と思われる 尾根を詰め露岩を回り込んだ所、	ムページ
19851124	1985/11/24	0.00	三段山南面	±	1650	丰屋	2	誘発	a	3 登攀系	吹きだまりに入り3名とも120mほ ど流される	ピオレ山の会
19860402	1986/4/2			西西	1280	表層表層	曇り	誘発	0		C MICALO	決定版雪崩学
											旭川勤労者山岳会7名パーティ	
19881127-1	1988/11/27	12:30	上ホロカメットク山D尾根・化物 岩東側(旧噴火口側)	北	1630	表層	晴れ	誘発	1	3 登攀系	が、氷雪訓練の帰路、下降尾根 を下りだしたところで発生	北海道雪崩研究会第 10回研究会資料
										-,	札幌登攀クラブが八手岩ルンゼ	
19881127-2	1988/11/27	?	上ホロカメットク山八ツ手岩	北	?	表層	?	?	0	0 登攀系	を下降中、3×5mのハードスラブ 雪崩に遭遇	北海道雪崩研究会第 10回研究会資料
4000000	1000 (0 (00		上ホロカメットク山D尾根・化物			+=		eta tala		o 24 to T		4 A 11 A
19890326	1989/3/26	?	岩東側(旧噴火口側)	北	?	表層	<i>!</i>	自然	0	0 登攀系	正面壁取り付き尾根で三段ルン	決定版雪崩学
19901124	1990/11/24	?	上ホロカメットク山正面壁	北西	?	?	?	?	0	? 登攀系	ゼヘ滑落	札幌登攀俱楽部
											2名パーティが壁の基部の吹きだまりに着いたときに足元から流さ	
19921122	1992/11/22	?	上ホロカメットク山ハツ手岩	東	1700	?	?	誘発	0	2 登攀系	れる	旭川山岳会会報6号
											3名パーティがD尾根とのコルから 間違って降下、二人目が25m降り	札幌登攀クラブ尺取
19921123	1992/11/23	?	上ホロカメットク山八ツ手岩	西	1800	?	?	誘発	0	? 登攀系	たところで雪崩を誘発	虫2号
											4名パーティがスキー歩行による 雪崩を誘発。トップの足元に真横	北海道の山岳地における山岳雪崩事例一
19921222	1992/12/22	8:00	上ホロカメットク山D尾根	北	1360	表層	?	誘発	0	? 滑降系	に亀裂が入り、板状になだれる	覧 1989
			上ホロカメットク山旧噴火口付								吹き溜まりに踏み出したとき、ス キーのトレースから雪崩る。3人	北大ワンダーフォーゲ
19930116	1993/1/16	22:30	近	南西	1350	?	?	誘発	0	3 滑降系	流されたが自力脱出	ル部報
											3名パーティがホコ岩へ向かう緩 斜面でトップの足元から亀裂。雪	
19930220	1993/2/20	13:00	富良野岳北尾根ホコ岩付近	北	1730	表層	?	誘発	0	? 登攀系	面はクラスト状態 雪庇を踏み抜き滑落後雪崩発生	山と仲間4月号
19931231	1993/12/31	12:00	富良野岳北尾根ホコ岩付近	北東	1730	表層		誘発		2 登攀系	当氏を始み扱き有洛後当朋先王 200m流される	山岳救助警備隊
											住友赤平炭坑山岳会3名パーティ	北海道雪崩研究会第
19941126-1	1994/11/26	9:40	上ホロカメットク山下降ルンゼ	北西	1650	表層	晴れ	誘発	2	3 登攀系	が雪崩に巻き込まれ、2名死亡	10回研究会資料
19941126-2	1994/11/26	11:30	上ホロカメットク山下降ルンゼ	北西	1800	表層	晴れ	2	0	0 登攀系	北海道新聞の記者が目撃	北海道新聞 1994.11.27
10011120 2	100 1/ 11/ 20	11.00		7011	1000	34/6	76.10			, <u> </u>	札幌中央勤労者山岳会3名パー	100 1.111.27
			上ホロカメットク山正面壁取り								ティが、尾根を上がっている時、 雪崩(5mくらい)が発生。バラン	労山登山研究集会の
19941126-3	1994/11/26	10:00	付き尾根上部	北西	1650	表層	晴れ	誘発	0	1 登攀系	スを崩し滑落	リポート
19941203	1994/12/3	10:15	OP尾根大砲岩付近	北西	1830	表層	吹雪	誘発	1	4 登攀系	北大ワンダーフォーゲル部員4名 が雪崩に遭遇。滑落。死者1名	北海道新聞1994.12.8
											ナマコ尾根から山頂への急傾斜	
19990130	1999/1/30	?	三段山	北東	1600	表層	曇り(強風)	誘発	0	0 滑降系	をトラバース中、足元から5メート ルくらい亀裂が走り、雪崩れた	三段山クラブHP
000000	0000.0		— cn., i.	_	1550	△ 🗷	•				南面からのデブリが小尾根も越	11 AB 39 88 A =
0?03?? 000401-1	200?.3		三段山	南 北西	1550 1700	全層	吹雪	自然	0		えて周囲に広がっていた 凌雲閣より観察	札幌登攀クラブ 三段山クラブHP
000401-2	2000/4/1	15:30	翁コース	北西	1170	表層	吹雪	誘発	0	1 滑降系	スキーヤー1名が埋没。自力脱出 登攀中、OP尾根N地点下約60m	三段山クラフHP
044000	0004 /40 /0		00-2-47		1010	+=	***(***	eta bala		o 24 to T	表層雪崩で全員埋没。全員自力	to unit of A A time of
011209 020223	2001/12/9		OP尾根下部 富良野岳北尾根(TGR)	北東	1610 1200	表層表層	吹雪(西風)	自然 誘発	0		脱出下山	旭川山岳会会報7号 三段山クラブHP
		10.00	国及野田北港银(TGIV)	1024	1200	23.76	7/ S			O MP4X	ハツ手岩東壁取り付きルンゼで	
021122	2002/11/22	?	上ホロカメットク山八ツ手岩	北西	?	?	?	?	?	? 登攀系	雪崩	旭川山岳会
030213	2003/2/13	?	三段山東壁	北東	1360	表層	?	誘発	0	0 滑降系	歩くとクラックが入って表層20cm 前後が割れおちた	Qali
											厚さ20~30cm、幅30m、長さ 100m位。ボーダーが誘発したと	
030301	2003/3/1	?	富良野岳ジャイアント尾根	北東	1490	表層	晴れ	誘発	0	0 滑降系	のこと	三段山クラブ
030306	2003/3/6	2	三段山東壁	北東	1360	表層	強風	自然	0	0 滑降系	東壁のピークに近い側幅20mで 他の場所にもあり	Qali
030316-1	2003/3/16		富良野岳西尾根	北北	1500	表層	吹雪	誘発	0		-2-MINI-0037	三段山クラブHP
030316-2	2003/3/16	11:20	富良野岳ジャイアント尾根	北東	1520	表層	吹雪	誘発	0	- 7/37 17/4		三段山クラブHP
030316-3	2003/3/16	11:25	富良野岳ジャイアント尾根	北東	1400	表層	吹雪	誘発	0	0 滑降系	雪庇部分を始まりに、厚さ20cm、	三段山クラブHP
030323	2003/3/23	13:50	前十勝ボウル斜面	北	1430	表層	晴れ	自然	0	0 滑降系	雪庇部分を始まりに、厚さ20cm、 幅100m位、長さ100m以上	三段山BBS
030501	2003/5/1	?	富良野岳ベベルイ沢	北	1670	表層	晴れ	自然	0			三段山クラブHP
030502-1 030502-2	2003/5/2	?	上ホロカメットク山八ツ手岩 上ホロカメットク山化け物岩	北西北	1700 1630	表層	晴れ	自然	0			三段山クラブHP 三段山クラブHP
330302-2	2000/0/2		ニ・ハーカン カ・フロコロリ 物石	ИL	1000	公 店	-H10	日松	- 0	- 777.778	源頭部分で幅10m、長さ15m、破	—txm////IP
											断面は20~30cm。雪質はウィンドパック。誘発したスキーヤーは、	
040110	2004/1/10	10:20	三峰山沢	南西	1340	表層	吹雪	誘発	0	1 滑降系	流されて腰まで埋没	三段山クラブHP
											ベベルイ沢末端収東部分にて面 発生乾湿表層雪崩。破断面	
											30cm、上端幅約30m、末端部は 幅10m以下、距離50m以上。誘発	
040111	2004/1/11		富良野岳ベベルイ沢	東	1350	表層	雪	誘発	0	1 滑降系	したライダーは立ったまま胸の高さまで埋没、自力脱出	Qali
040111	2004/1/11		田区町山・ハバーバ	木	1000	公 店	=	的光	0	1/8呼水	スノーボーダーが遭遇。沢の源頭	
040306	2004/3/6	2	富良野岳ジャイアント尾根	北西	1500	表層	晴れ(強風)	?	0	0 滑降系	部分で発生。厚さ20cm、幅10m、 長さ15m位	北海道発バックカント リー情報交換サイト
5 70000	200 ./ 0/ 0		- COLUMN TO THE TENT		.003	A/B	12.1 = \JakeBe/			- METAN	大量の風成雪がラッセルするた	
040327	2004/3/27	2	三段山東谷	北東	1420	表層	強風	誘発	0	0 滑降系	びに上積部分が足元から切れ落ちていく状態	Qali
											新雪の風成雪。三峰山沢を対岸	
											に渡ろうとしたところで30m×15 m四方のボール状の斜面が上部	
050103-1	2005/1/3	2	三峰山沢	南西	1150	表層	吹雪	誘発	0	1 滑降系	から雪崩れた。スキーヤーは立ったまま完全に埋没	ガイドの山小屋HP
050103-1	2005/1/3		翁コース	北西	1170	表層	吹雪	7	0		/こののルエに生/ス	ガイドの山小屋HP
050106	2005/1/6		富良野岳ベベルイ沢	東	1500以上	?	強い西風	?	0		デブリを目撃	ガイドの山小屋HP
											風成雪の表層雪崩。厚さ70~ 80cm、幅10m、長さ30~40m。固	
050116-1	2005/1/16		三段山西の谷	北西	1450	表層	曇り(強風)	誘発	0	0 滑降系	く締まった雪質	ガイドの山小屋HP
050116-2	2005/1/16	12:00頃	三段山二段目	北西	1250	表層	曇り(強風)	?	0	0 滑降系		佐々木 学氏 作

							T /995	四不当朋 /	ータ(1934-2	011)		
050400 1	0005 /4 /00	10.00	売占取らが、ノマ、1 尺板	Jl. ±	1400	±==	nin (Ti	== 00		0 28 88 75	スノーボーダーが遭遇。厚さ 60cm、幅40~50m、走路長80m、	# - +
050423-1	2005/4/23	13:08	富良野岳ジャイアント尾根	北東	1403	表層	吹雪	誘発	0	0 滑降系	標高差35m 雪崩後間もない痕跡を発見。標	佐々木 学氏
050423-2	2005/4/23		富良野岳ジャイアント尾根	北東	1400	表層	吹雪	?		0 滑降系	高差で200mくらい	佐々木 学氏
050424	2005/4/24		三段山夫婦岩付近	南西	1700	表層	晴れ	?		0 滑降系	三段山山頂より観察	三段山クラブHP
050529	2005/5/29	?	富良野岳南東	南	1800	表層	晴れ	自然	0	0 滑降系	スラッシュ雪崩	Qali
060102	2006/1/2	?	三段山東谷	北西	1400	表層	吹雪	?	0	0 滑降系	厚みは30cm、幅100m、長さ50m 程	三段山クラブHP
											ウインドクラスト状態だった。伝	
060305-1	2006/3/5	?	富良野岳ジャイアント尾根	北東	1550	表層	曇り	誘発	0	0 滑降系	聞。 デブリを発見。昨日は無かったこ	三段山クラブHP
											とから、夜間に発生した可能性が	
060305-2	2006/3/5		富良野岳二十二林班沢	北西	1350	表層	曇り	?		0 滑降系	ある	三段山クラブHP
060306	2006/3/6	?	三段山二段目	北東	1250	表層	吹雪	誘発	1	0 滑降系	パラしょこ在し出に 砂井 ナゴ	三段山クラブHP
											バスッという音と共に発生。すご い勢いでスラフが木にあたりなが	
060308	2006/3/8		富良野岳北尾根(TGR)	北東	1400	表層	雪	誘発		0 滑降系	ら落ちていった	skidiary
0603??	2006.3.?	?	富良野岳二十二林班沢	北西	?	表層	?	?	0	0 滑降系	大規模な雪煙型雪崩をスキー ヤーが目撃	現地での伝聞
060325	2006/3/25		富良野岳北尾根(TGR)	北東	1200	表層	晴れ	誘発		1 滑降系	1 1 1 1	三段山クラブHP
060423	2006/4/23	?	三峰山	北	1750	表層	?	?	0	0 滑降系	三段山山頂から視認	三段山クラブHP
070106	2007/1/6	13:00	三段山三段目	北西	1470	表層	吹雪	誘発	0	1 滑降系	風成雪が雪崩れ、15m流された	ふーちゃん
											足元から上部に畳8畳ほどのひ び割れが入って雪崩れた。斜度	
			* 1 1 2 2 2 2 2 2 2		4470	+=	B11/34 B 00 \	22.24		0 10 00 75	はほとんど無いのでデブリは流	
070214	2007/2/14	11:00	前十勝 千春沢末端	北	1170	表層	曇り(強風20m)	誘発	0	0 滑降系	れなかった 前日か前々日まで強風。辺り一	Qali
070216	2007/2/16		三峰山沢	南西	1340	表層		?	0	0 滑降系	面がデブリ	Kei
											上方のスキーヤーが誘発した雪	
070224	2007/2/24	15:32	上ホロカメットク山D尾根末端	南西	1280	表層	快晴	誘発	0	1 滑降系	崩れに巻き込まれ、7~8メートル ほど流されて腰まで埋没	Kei
											厚さ約10cm、幅3~5m、長さ30m	
070228-1	2007/2/28	10:30	富良野岳北尾根西側斜面	西	1650	表層	快晴(強風15m)	自然	0	0 滑降系	3箇所	shiba
070228-2	2007/2/28	11:00	富良野岳ジャイアント尾根	西	1520	表層	快晴(強風15m)	誘発	0	0 滑降系	厚さ約10cm、幅3~5m、長さ20m	shiba
070228-3	2007/2/28		富良野岳二十二林班沢	西	1650	表層	快晴(強風15m)	自然		0 滑降系	厚さ約10cm、幅3~5m、長さ50m	
070301	2007/3/1	0.20	上ホロカメットク山D尾根末端	北東	1270	表層	快晴(10m)	誘発	0	0 滑降系	厚さ約10cm、幅5~8m、長さ 20m	shiba
070301		9:30	上ホロカメットク山D尾根木端 三段山二段目	北西	1270	表層	IXVE(TUTT)	訪発 不明		0 滑降系	2011	orIIUd
0,3008	2001/0/0			1012	.200	34/8		. 91			厚さ約50~60cm、幅50m、長さ	
070313	2007/3/13		富良野岳北尾根(TGR)	北東	1200	表層	吹雪	誘発	0	1 滑降系	70m。スキーヤーが流され樹木に 激突(怪我無し)	shiba
070313	2007/3/13		田及封田心羌依(IGK)	北果	1200	衣僧	N =	n7976	· ·	1月 円 ボ	淑笑(怪我無し) ラッセル中に、すぐ横で雪崩が発	orIIUd
070317	2007/3/17		OP尾根大砲岩付近						0	0 登攀系	生。幅5m、厚さ20cm位	Ezo Alpine Club
070415	2007/4/15		上ホロカメットク山D尾根末端	南西	1270	表層	曇り	誘発	0	0 滑降系	沢へ近づくと10mくらいの亀裂が 入って雪崩発生	Kei
070415	2007/4/15		エハロハアットソ山U尾依木埔	用四	12/0	衣僧	盛り	क्रिअंट	U	0 / 作阵术	アイゼンで下降中、厚さ15cm、幅	Ivel
							Buyta	zz ~.		Ja 419	5~6m,長さ30m,の雪崩を誘発。	
071111	2007/11/11		上ホロカメットク山化物岩下部	北	1460	表層	曇り(視界不良)	誘発	0	1 登攀系	二次雪崩も発生	三浦
											山スキー中の2名パーティが雪崩 を誘発し、一名が埋没。道警へリ	
071113			上ホロカメットク山下降ルンゼ	西北西	1827	表層	快晴(無風)	誘発	0	1 滑降系	で救出	雪氷災害調査チー
071123	2007/11/23	12:00頃	上ホロカメットク山化物岩	北	1620	表層	曇り~雪(視界7	誘発	4 1	2 登攀系	雪氷学会北海道支部HPを参照	雪氷災害調査チー
080223-1	2008/2/23		三段火口直上および周辺3箇 所	北西	1400	表層	吹雪	自然	0	0 滑降系	破断面40~50cm	ガイドの山小屋
			三段火口と西の谷に挟まれた				l					
080223-2	2008/2/23	0.0045	尾根上斜面1箇所	北西	1400	表層	吹雪	自然		0 滑降系	破断面40~50cm	ガイドの山小屋 三段山クラブHP
080309-1 080309-2	2008,3,9	8:00頃	富良野岳ジャイアント尾根 富良野岳ニ十二林班沢	北東北	1552 1350	表層	快晴(強い南風) 快晴(強い南風)	?		0 滑降系 0 滑降系	厚さ15cm,幅140m、長さ約227m 長さ約200m	三段山クラブHP
080312	2008/3/12		富良野岳北尾根(TGR)	北東	1000	表層	快晴	誘発		0 滑降系	足下をすくわれる勢いのスラフ	三段山クラブ聞き取
											スノーボーダー1名が腰まで埋 没。腓骨骨折と打撲	
080313	2008/3/13	11:00頃	富良野岳北尾根	北東		表層	快晴	誘発	0	1 滑降系		三段山クラブ聞き取
											厚さ15cmくらい、幅約10m、長さ 30m。流されて木に激突(怪我無	
080406	2008/4/6	13:00頃	富良野岳北尾根(TGR)	北東	1100	表層	曇り	誘発	0	1 滑降系	L)	三段山クラブ聞き取
081114	2008/11/14		上ホロカメットク山化物岩	北	1620	表層	晴れ	自然	0	0 登攀系	厚さ20cm.幅10m,長さ200m 厚さ20cm.幅15m,長さ20m 一名	三浦
081212	2008/12/12	10:20頃	上ホロカメットク山八つ手岩	西	1540		吹雪		0	2 登攀系	が半身埋没	北海道雪崩研究会
		440017	- co co. m		1010	+=	34 E / II. +	22.04		0 10 00 T	厚さ100-150cm.幅30m,長さ10-	- m
090113 090116			三段山二段目 三段山二段目	東	1310 1310	表層表層	強風(北東) 無風	誘発		2 滑降系 0 滑降系	15m 1名か半身理没 厚さ50cm	三段山クラブHP Qali
000110	2000/1/10		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	*	1010	2人店	ATTY COME			- /017/1	厚さ15cm,幅10m,長さ50-80cm	
000010	2000/0//0	0.201=	富良野岳ベベルイ沢源頭	네V ZEE	1000	***		議会	0	0.温除玄	ハンドテストでは-15cmに弱層。	三郎リカニゴリカ
090216-1 090216-2	2009/2/13	9:30頃	富良野岳ペペルイ沢源頭富良野岳二十二林班沢	北西北西	1600	表層		誘発	0	0 滑降系 滑降系	ウィンドスラブ雪崩	三段山クラブHP 三段山クラブHP
090210-2	2009/2/13		富良野岳北尾根TGR	北東		表層		誘発		1 滑降系		三段山クラブHP
											厚さ40cm,幅10m,長さ30m雪庇を	
090301	2009/3/1		富良野岳ベベルイ沢	東	1600		無風	誘発	0	滑降系	飛んだ跡ピットチェックでは肘2回	三段山クラブHP
090325 090405-1	2009/3/25 2009/4/5	11.41	三峰山 三段山 北壁	北	1595	表層	長のち雪	誘発	0	滑降系 1 滑降系	厚さ20-30cm,幅25m,長さ246m	三段山カニゴロロ
090405-1	2009/4/5		三段山 北壁	北	1595	表層	豊のち雪	誘発		1 滑降系	厚さ20-30cm,幅25m,長さ246m 厚さ40cm,長さ220m	三段山クラブHP 三段山クラブHP
090509	2009/5/9		上ホロカメットク山化け物岩	北	1620	表層	晴のち曇り		0	滑降系		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
			上ホロカメットク山北西稜 ル									
091111	2009/11/11	10:30	ンゼ	北西	1600			誘発		3 登攀系	長さ50~60m以上	北海道雪崩研究会
091113	2009/11/13	13:45	安政火口 三段山側	南西	1550	表層		誘発	0	3 登攀系	幅10~15m、長さ50m以上	北海道雪崩研究会
	2000/11/10										幅不明、長さ30~40m、破断面の	
			三段山東谷	西	1400	表層		±± ∞	0	滑降系	厚さ30cm~100cm	三段山掲示板
091230	2009/12/30		宣白取らさい /マン・ロセ			表層		誘発	0	滑降系		ブログただ乗り
			富良野岳ジャイアント尾根								担模・サイブ1/4	
091230	2009/12/30		富良野岳ジャイアント尾根								規模:サイズ1.4 破断面:30~40cm	
091230 100207	2009/12/30 2010/2/7	13:30		北	1,300	表層	強風	誘発	0	滑降系	破断面:30~40cm 上部破断面幅:10~15m	三段山掲示板
091230	2009/12/30	13:30	富良野岳ジャイアント尾根 前十勝 千春沢	北	1,300	表層	強風	誘発	0	滑降系	破断面:30~40cm 上部破断面幅:10~15m 走路:30~40m 大正火口の沢にてSize1.5の面雪	三段山掲示板
091230 100207	2009/12/30 2010/2/7	13:30		北	1,300	表層	強風	誘発	0	滑降系	破断面: 30~40cm 上部破断面幅: 10~15m 走路: 30~40m 大正火口の沢にてSize1.5の面雪 崩、N斜面のコンペックスから破	三段山掲示板
091230 100207	2009/12/30 2010/2/7	13:30		址	1,300	表層	強風	誘発	0	滑降系	破断面 30~40cm 上部破断面幅:10~15m 走路:30~40m 大正火口の沢にてSize1.5の面雪 崩、N斜面のコンペックスから破 断、沢状地形の風下面、採高 1430m~1340m幅300m長さ	雪の掲示板
091230 100207 100223	2009/12/30 2010/2/7 2010/2/23	13:30	前十勝 千春沢								破断面:30~400m 上部破断面幅:10~15m 走路:30~40m 所、沢杖地部の風下面 標高 1430m-1340m(編30の長を 150m~30m,スラブの厚さ10cm, 走後のトラバースが12—トトリ	雪の掲示板 http://nadare.jp/sr bbs/2010/04/1004
091230 100207	2009/12/30 2010/2/7 2010/2/23	13:30		치 . 치	1,300	表層	強風 晴れ(強風)	誘発誘発	0	滑降系	破断面:30~40cm 上部破断面幅:10~15m 走路:30~40m 大正火口の沢にてSize1.5の面雪 崩。N斜面のコンペックスから破 断、沢状地形の風下面、標高 1430m~1340m幅300m長5 150m~30mスラブの厚さ10cm長6	雪の掲示板 http://nadare.jp/sr bbs/2010/04/1004 -1.html
091230 100207 100223	2009/12/30 2010/2/7 2010/2/23	13:30	前十勝 千春沢								破断面:30~400m 上部破断面幅:10~15m 走路:30~40m 所、沢杖地部の風下面 標高 1430m-1340m(編30の長を 150m~30m,スラブの厚さ10cm, 走後のトラバースが12—トトリ	雪の掲示板 http://nadare.jp/sr bbs/2010/04/1004 -1.html 雪の掲示板
091230 100207 100223	2009/12/30 2010/2/7 2010/2/23 2010/4/9	13:30	前十勝 千春沢 前十勝ボウル斜面	批	1,400		晴れ(強風)				破断面:30~40m 上部破断面幅:10~15m 走路:30~40m 大正火口の沢にてSize1.5の面雷 崩、N斜面のコンペックスから破 断、沢状地形の風下面、標高 1430m~1440m幅30m 長さ 150m~30m、スラブの厚さ10cm.滑 走後のトラバースがリモートドリ ガーになった。	雪の掲示板 http://nadare.jp/sr bbs/2010/04/1004 -1.html 雪の掲示板 http://nadare.jp/sr bbs2/2011/02/110
091230 100207 100223	2009/12/30 2010/2/7 2010/2/23 2010/4/9	13:30	前十勝 千春沢								破断面:30~40m 上部破断面幅:10~15m 走路:30~40m 大正火口の沢にてSize1.5の面雪 崩。N斜面のコンペックスから破 断、沢状地形の風下面、標高 1430m -1340m 幅30の風を 150m~30m,スラブの厚さ10cm,滑 走後のトラバースがリモートトリ ガーになった。	雪の掲示板 http://nadare.jp/sr bbs/2010/04/1004 -1.html 雪の掲示板 http://nadare.jp/sr
091230 100207 100223	2009/12/30 2010/2/7 2010/2/23 2010/4/9	13:30	前十勝 千春沢 前十勝ボウル斜面	批	1,400		晴れ(強風)				破断面:30~40m 上部破断面幅:10~15m 走路:30~40m 大正火口の沢にてSize1.5の面雪 原、N斜面のコンペックスから破 断、沢状地部の風下面、標高 1430m~1340m隔300m長を 150m~30mスラブの厚さ10cm滑 走後のトラバースがリモートトリ ガーになった。 1400m付近風下斜面で雪庇をso 破断面 15cmsize1を確認 三峰山沢をトラバース中に三名 バーティのラ1名が18条。横	雪の掲示板 http://nadare.jp/sr bbs/2010/04/1004 -1.html 雪の掲示板 http://nadare.jp/sr bbs2/2011/02/110
091230 100207 100223 100409	2009/12/30 2010/2/7 2010/2/23 2010/4/9 2011/2/6		前十勝 千春沢 前十勝ボウル斜面 富良野岳 ジャイアント尾根	北西	1,400	表層	晴れ(強風) 雲量4-5(8-11m)	誘発	0	滑降系	破断面:30~40m 上部破断面幅:10~15m 走路:30~40m 大正火口の沢にてSize1.50面雷 前、約4部面のコンベックスから破 所、沢米地部の風下面、標高 は30m~1340m 68300m 長さ 150m~30mスラブの厚さ10mm 走後のトラバースがリモートトリ ガーになった。 1400m付近風下斜面で雪庇をec 破断面 15cm size1を確認 三峰山沢をトラバース中に三名 バーティのラち1名が誘発。横	雪の掲示板 http://nadare.jp/sr bbs/2010/04/1004 -1.html 雪の掲示板 http://nadare.jp/sr bbs2/2011/02/110 6-1.html#more
091230 100207 100223	2009/12/30 2010/2/7 2010/2/23 2010/4/9		前十勝 千春沢 前十勝ボウル斜面	批	1,400		晴れ(強風)		0		破断面:30~40m 上部破断面幅:10~15m 走路:30~40m 大正火口の沢にてSize1.5の面雪 崩。N斜面のコンペックスから破 断、沢状地形の風下面、標高 1430m~1340m 幅330m 長さ 150m~30m、スラブの厚さ10cm 滑 走後のトラバースがリモートトリ ガーになった。 1400m付近風下斜面で雪底をsc 破断面 15cm size1を確認 三峰山沢をトンドース中に三名 パーティのうち1名が誘発。横 20m、長さ100m100流され、途中 木にぶつかり、木で打撃	雪の掲示板 http://nadare.jp/sr bbs/2010/04/1004 -1.html 雪の掲示板 http://nadare.jp/sr bbs2/2011/02/110 6-1.html#more
091230 100207 100223 100409	2009/12/30 2010/2/7 2010/2/23 2010/4/9 2011/2/6		前十勝 千春沢 前十勝ボウル斜面 富良野岳 ジャイアント尾根	北西	1,400	表層	晴れ(強風) 雲量4-5(8-11m)	誘発	0	滑降系	破断面:30~40m 上部破断面幅:10~15m 走路:30~40m 大正火口の沢にてSize1.5の面電 前、N斜面のコンペックスから破 断、沢状地形の風下面、標高 1430m~1440m幅30m人長さ 150m~30mスラブの厚さ10cm.滑 走後のトラバースがリモートトリ ガーになった。 1400m付近風下斜面で雪底をso 破断面 15cmsize1を確認 三峰山沢をトラバース中に三名 パーティのうち1名が誘発、換 力にぶっかり、木で打撲。 2度目付近、ノーマルルートとク ラッシックルートの間のボウル状	雪の掲示板 http://nadare.jp/sn bbs/2010/04/1004 -1.html 雪の掲示板 http://nadare.jp/sn bbs2/2011/02/110 6-1.html#more
091230 100207 100223 100409	2009/12/30 2010/2/7 2010/2/23 2010/4/9 2011/2/6		前十勝 千春沢 前十勝ボウル斜面 富良野岳 ジャイアント尾根	北西	1,400	表層	晴れ(強風) 雲量4-5(8-11m)	誘発	0	滑降系	破断面:30~40m 上部破断面幅:10~15m 走路:30~40m 大正火口の沢にてSize1.5の面雷 崩、N斜面のコンペックスから破 断、沢状地形の風下面、標面 1430m~1440m幅30m,長さ 150m~30m,スラブの厚さ10cm.滑 走後のトラバースがリモートトリ ガーになった。 1400m付近風下斜面で雪庇をsc 破断面 15cm.size1を確認 三峰山沢をトラバースサロニ名 バーティのうち1名が誘発、独 20m,長さ100m10流され。施中 木にぶっかり、木で打集。 2度目付近、ノーマルルートとク ラッシックルートの間のボウル状 斜面をトラバース中に、6名バー ティのうち1名が誘発。読されたる	雪の掲示板 http://nadare.jp/sn bbs/2010/04/1004 -1.html 雪の掲示板 http://nadare.jp/sn bbs2/2011/02/110
091230 100207 100223 100409 110206	2009/12/30 2010/2/7 2010/2/23 2010/4/9 2011/2/6	11:00	前十勝 千春沢 前十勝ボウル斜面 富良野岳 ジャイアント尾根 三峰山沢	本	1,400	表層	晴れ(強風) 豪量4-5(8-11m) 晴れ(強風)	誘発	0	滑降系	破断面:30~40m 上部破断面幅:10~15m 走路:30~40m 大正火口の沢にてSize1.5の面雪 原、N料面のコンペックスから破 断、沢状地形の風下面、標高 1430m~1340m幅:30の風を 150m~30m,スラブの厚さ10cm 浄走後のトラバースがリモートトリ ガーになった。 1400m付近風下斜面で雪庇をsc 破断面 15cmsize1を確認 三峰山沢をトラバース中に三名 ペーティのラち名が発急、横 20m、長さ100m100流され、 東と105mのボウル状 2位目位、ノーマルルートとク ラッシックルートの間のボウル状 斜面赤トラバース中に、8名パー	雪の掲示板 http://nadare.jp/sn bbs/2010/04/1004 -1.html 雪の掲示板 http://nadare.jp/sn bbs2/2011/02/110 6-1.html#more
091230 100207 100223 100409	2009/12/30 2010/2/7 2010/2/23 2010/4/9 2011/2/6	11:00	前十勝 千春沢 前十勝ボウル斜面 富良野岳 ジャイアント尾根	北西	1,400	表層	晴れ(強風) 雲量4-5(8-11m)	誘発	0	滑降系	破断面:30~40m 上部破断面幅:10~15m 走路:30~40m 大正火口の沢にてSize1.5の面雷 崩、N斜面のコンペックスから破 断、沢状地形の風下面、標面 1430m~1440m幅30m,長さ 150m~30m,スラブの厚さ10cm.滑 走後のトラバースがリモートトリ ガーになった。 1400m付近風下斜面で雪庇をsc 破断面 15cm.size1を確認 三峰山沢をトラバースサロニ名 バーティのうち1名が誘発、独 20m,長さ100m10流され。施中 木にぶっかり、木で打集。 2度目付近、ノーマルルートとク ラッシックルートの間のボウル状 斜面をトラバース中に、6名バー ティのうち1名が誘発。読されたる	雪の掲示板 http://nadare.jp/sn bbs/2010/04/1004 -1.html 雪の掲示板 http://nadare.jp/sn bbs2/2011/02/110 6-1.html#more